

科目名	プレゼンテーション							年度	2025
英語科目名	Presentation							学期	前期
学科・学年	応用生物学科 2 年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	森内 寛	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 様々な場面で必要とされる、プレゼンテーション能力を磨きます。									
【科目の概要】 様々な場面で必要とされる、プレゼンテーション能力を磨きます。									
【到達目標】 就職活動に必要なマナー、コミュニケーションスキルを身につける。身につけた能力を就職活動や進学試験に生かせるようにする。パワーポイントや指定されたフォーマットでの文章・図表を用いてまとめ正しく表現できるようにする。									
【授業の注意点】 キャリアサポートブックやB検の教科書を利用しながら各項目について学ぶ。服装、礼儀作法、電話のかけ方などはロールプレイングにて身につける。授業と同時進行で就職活動・進学試験が進むので、授業内容をしっかり身につけることが結果に直結する。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	本科目の授業に無遅刻・無欠席である。	本科目の授業に1回だけ遅刻した。	本科目の授業に2回以上遅刻または1日欠席した。	本科目の授業に3回以上遅刻または2日欠席した。	本科目の授業に3日以上欠席した（出席時数の4分の3以上出席していない）。				
到達目標 B	非常に明確で論理的な意見の表現ができる	比較的明確で論理的な意見の表現ができる	一部明確性や論理性に欠けるが、基本的な意見は表現されている	一部意見が不明確であり、論理的な根拠があまり示されていない	意見が不明確であり、論理的な根拠が示されていない				
到達目標 C	非常にわかりやすく効果的な視覚資料を作成できる	比較的わかりやすく効果的な視覚資料を作成できる	一部わかりにくさがあるが、基本的な情報伝達は可能	一部わかりにくさがあり、基本的な情報伝達もやや不足している	視覚資料があまり効果がなく、情報の伝達が不明瞭				
到達目標 D	非常に論理的で説得力のある発表が行える	論理的で説得力のある発表が行える	発表の流れや説得力に一部の欠点があるが、基本的な発表は行える	発表の流れや説得力に一部の欠点があり、基本的な発表力もやや不足している	発表の流れが悪く、聴衆を説得する能力に乏しい				
【教科書】 なし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する。									
【成績の評価方法・評価基準】 課題や授業内に行われる発表、積極的な授業の参加度など総合的に判断し評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		遺伝子組換え実験				年度	2024
英語表記		Presentation				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	プレゼンテーション基本①	プレゼンテーションの基本的なスキルを理解し、準備の重要性を認識する。	1	定義と重要性	基本的なプレゼンテーションスキルを理解する。	1	
			2	プレゼンテーションの準備と計画	プレゼンテーションの準備と計画の重要性を認識する。	1	
2	プレゼンテーションの構成と論理展開	プレゼンテーションを論理的かつ効果的に構成する能力を向上させる。	1	プレゼンテーションの構成方法	プレゼンテーションを論理的に構成できる能力を向上させる。	1	
			2	プレゼンテーションの流れの作成	情報の整理とプレゼンテーションの流れの作成能力を磨く。	1	
3	視覚資料のデザインと使用方法	視覚資料を適切に設計し、プレゼンテーションの情報伝達を助ける能力を習得する。	1	視覚資料の基本デザイン	視覚資料の適切なデザインと使用方法を習得する。	1	
			2	視覚資料の作成と使用方法	視覚資料を効果的に利用してプレゼンテーションの情報伝達力を高める。	1	
4	話し方と身振りの練習	話し方と身振りをを用いて自然で魅力的なプレゼンテーションを行う能力を向上させる。	1	話し方の基本技術	自然な話し方と魅力的な声の使い方を身につける。	1	
			2	身振りと表情の練習とフィードバック	効果的な身振りと表情を練習し、フィードバックを通じて改善する能力を養う。	1	
5	プレゼンテーションの実践	実際のプレゼンテーションを通じてフィードバックを受け入れ、改善する能力を発展させる。	1	プレゼンテーションの実施	実際のプレゼンテーションを通じてプレゼンテーションスキルを実践する。	1	
			2	フィードバックセッション	フィードバックを受け入れ、次のプレゼンテーションの改善点を明確にする能力を高める。	1	
6	特別テーマ	自身の関心や専門分野に基づいたプレゼンテーションを準備し、実施する能力を育成する。	1	特定のテーマに基づくプレゼンテーションの準備	自身の関心や専門分野に基づいたプレゼンテーションを準備し、実施する能力を向上させる。	1	
			2	フィードバックとディスカッション	特定テーマに関する深い理解とフィードバックの受け入れを行う。	1	
7	最終プレゼンテーション	最終プレゼンテーションを通じて全ての学習成果を発揮し、振り返りを通じて今後の自己改善の道筋を立てる。	1	最終プレゼンテーションの実施と評価	最終プレゼンテーションで全ての学習成果を実践する。	1	
			2	学習の振り返りと今後の自己改善計画の立案	学習の振り返りを通じて今後のプレゼンテーションスキルの改善計画を立てる。	1	
8	まとめ	第1回から7回までの内容を総復習する。	1	第1回から7回までの内容を総復習する。	第1回から7回までの内容を理解している。	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等